PRESS
RELEASE

平成１７年１１月２２日
トッパン・フォームズ株式会社

バイオコート紙(R)で作ったグリーティングカードセット
日本郵政公社に納入

情報管理サービス業のトッパン・フォームズ株式会社は、株式会社宇宙環境工学研究所（本社：東京都港区、代表取締役社長：古永　利克）が開発したバイオコート紙(R)を使用したグリーティングカードを製造し、日本郵政公社に50,000セット納入しました。日本郵政公社では、12月1日（木）から全国の中央郵便局（川崎中央郵便局を除く。）の窓口で、１セット（グリーティングカード５枚[Ａ５サイズ、二つ折りタイプ]、封筒５枚及び取扱説明書入り。）400円（税込み）で販売します。

宇宙環境工学研究所の開発したバイオコート紙(R)は、紙の表面にバイオ技術で作られた微細セルロースと、ポリマーを塗布しています。今まで市販されている、コート紙系の用紙は表面にシリカやアルミナが塗布されており、インクジェットプリンターで印字した場合、にじまず発色性も良いのですが、その塗布剤のためボールペンや鉛筆による筆記適性は良くありませんでした。表面処理をしていない普通紙系の用紙は、繊維径が太いので印字がにじみやすく、発色もいいとは言えませんでした。
バイオコート紙(R)は、微細セルロースの繊維径が、紙繊維の1000分の１程度と細い(繊維径10～50ナノ・メートル。1ナノ・メートルは10億分の1メートル)ので、にじみのない発色性のよい印字を実現しています。このセルロースは、紙に使われ

ている繊維と類似した物質のため、筆記適性も問題がありません。また、ポリマーがインクジェットのインクを包み込むため、オゾン（酸化）による色あせも防止し、いつまでも印字した時の状態を保ちます。コート紙系の経時変化による黄ばみは、表面塗布剤が無機物のため可塑剤（ビニールなどの柔軟性を保持するために添加されている。）を吸着し変化すると言われていますが、バイオコート紙(R)は有機物を使用しているため、変色が軽微です。
今回は、インクジェットプリンターの印字適性がよいコート紙の特徴と、筆記適性のよい普通紙の特徴をあわせ持ち、さらにインクの色あせに強く、紙自体が黄色く変色しないバイオコート紙(R)の特性をいかし、グリーティングカードの製品化が実現しました。
今後も宇宙環境工学研究所とともに、情報用紙の機能向上に向け共同で製品を開発していきます。

バイオコート紙(R)の特徴
①インクジェットプリンターの印字で、にじみがなく、発色がよい。
　（極細印字が可能）
②筆記適性がよい。
③経時変化による、インクの色あせが少ない。
④紙自体の変色が少ない。

会社概要：
株式会社　宇宙環境工学研究所
設立：1998年2月
資本金：11,800万円
本社所在地：東京都港区東新橋２－１１－７
　　住友東新橋ビル５号館４階
TEL：03-5776-2377
URL：http//www.set.co.jp/

以　上